

# 八幡平観光新聞

令和2年5月



5/20  
八幡平DMO  
発行人:文責  
島海良信

## 「アフター・コロナ」時代に向けて...

### ■人が動く条件は?

全国に発令された緊急事態宣言は一部の都道府県を除いて解除されました。感染拡大は移動の自粛によってはいり弱まって来てはいるものの、問題は感染者がどれだけ居るのか、免疫を持った人がどれだけ居るのかです。自分では動けないコロナは、人が動けば動く。状況は未だ続きます。

### ■再移動後の計画は?

これからのステップを大きく考えると、**①当面は慣らし運転**を大きく考える。人々の受入れもおっかなびっくりな時期ですが、初期段階の対象は感染者の少なかった近郊のマイカー圏。移動時の3密は避けられませんが、個人客が中心です。また、運営面でも負荷は少なく開始できそうです。だだお出かけいただくキッカケづくり工夫が必要になります。

### ■旅先はギアを上げて

国の、移動自粛の影響を受け冷えたんだ旅行市場を盛り上げる補正予算GOTOキャンペーンのタイミング迄に、前記の慣らし運転が上手に展開され、安全・安心を担保できる運営が定着できると良いですね。

### ■再移動後の計画は?

ここで集団感染を起こした場合がかなりダメージになるので、皆で乗り切らなれないところですが、V字回復したいところですが、「持続可能な自身の立場が重要」と思われます。

### ⑥いよいよトップギア

本格稼働には、我々の受入れ体制の充実とゲスト側の理解&協力も必要となります。夏季営業の勝負所!! 紅葉シーズンを控に、市場の回復と輸送の安定を願うばかりです。

### ■旅行業界の動き予想

みなさんご承知の様に、東北の夏を彩る各地の祭り・花火は殆どが中止になっており、伴うバスツアーは設定がありません。よって宿泊・入込み共に例年とは異なる動きとなります。

### ⑥域内での動き

地域によって状況は異なり、市内・県内の自粛は緩和傾向ですが限定的・段階的な解除となっています。

### ⑦月：地方内の動き

ツアーは動き出しそうですね。また集団感染は敬遠され、個人中心の動きとなります。本来は夏休み明けに動きが始まるのですが、学校の夏季補修の話もあり、どうなるのかは不透明です。

### ⑧月：個人は何処まで

感染の第2波が来なければ、国の補助を受けた旅行会社・交通機関の仕掛けに反応が出て来るタイミングです。ゲスト側/受入れ側の慣らし運転が順調に進めば、運転が大きく変わり市場は動き出すと思われれます。

### ■八幡平の観光素材

3月の観光協議会でお知らせをし、新たに提出いただいた素材も併せ、県のシステムには50件に及び素材の登録が完了しました。

### ■八幡平の観光素材

最大の問題は、今八幡平にゲストを迎えられないことですが、先々の予定や戦略が立たず足踏みをしていることにも困っています。

### ■八幡平の観光素材

今年のDOCに向けて今年テストをする計画が流れたり、組まれる補正予算が動く迄には観光素材の梱卸、整理整頓を進めています。

### ①目指すスキー場の姿について

安定した滑走期間。昨今の全国的な雪不足に於いても、八幡平は滑走期間が長く、注目を集めています。安比高原では高性能人工降雪の更なる投資投入により、シーズン中の抜群の雪質に加え、シーズン始め&終盤迄の安定した滑走可能期間を約束する事で、遠隔地からの来訪者の期待に添えて行きます。

### ②通年型のマウンテンリゾート

グリーンシーズンは世界水準の規格ではグリンシーズンの充実が大きなテーマです。その点、十分な環境と素材はありますが、ビジターの受入面ではハードの更新やソフト面の再構築と多言語対応は必須の課題となって来ます。

### ③「まち・ひと・しごと」の創造

八幡平の特性を活かした、生きがいを感じる働く場の創造。3月に示された第2期総合戦略の4つの柱の1番です。「地域の誇りを体験してもらおう」為にも、我々の強みを商品化して楽しんでもらうことが必要です。

### ④「まち・ひと・しごと」の創造

地域で育った若者が、内容・収入の両面で働き甲斐を見出せることが持続可能な観光の原点であり、魅力的な雇用の創出は、スノーリゾート形成の重要なポイントとなります。外部から優秀な人材を招く為にも必要要素となります。

### ⑤「まち・ひと・しごと」の創造

自然散策パスは恐らく最大のヒット商品であり、これからもうこれを使いこなす。この機会に観光素材の修繕や更新を進めるのはどうでしょうか? 手続きは結構面倒で案件が出てからでは間に合わない様です。

### ⑥「まち・ひと・しごと」の創造

今年、補正予算は継続して出そうです。国立公園域は今注目されています。これを機会に観光素材の修繕や更新を進めるのはどうでしょうか? 手続きは結構面倒で案件が出てからでは間に合わない様です。

### ⑦「まち・ひと・しごと」の創造

今後、補正予算は継続して出そうです。国立公園域は今注目されています。これを機会に観光素材の修繕や更新を進めるのはどうでしょうか? 手続きは結構面倒で案件が出てからでは間に合わない様です。

### ⑧「まち・ひと・しごと」の創造

今年、補正予算は継続して出そうです。国立公園域は今注目されています。これを機会に観光素材の修繕や更新を進めるのはどうでしょうか? 手続きは結構面倒で案件が出てからでは間に合わない様です。

### ⑨「まち・ひと・しごと」の創造

スキー旅行での付帯売上拡大のポイント。期間×仕上り長期滞在×付加売上になります。誘客・動員のキッカケは「雪質」になります。ですので、メインビジュアルはパウダーになります。収益的には、ハイクラスなスキーレックスや雪遊びのソフト付加売上の充実となります。

### ⑩「まち・ひと・しごと」の創造

八幡平リゾートのパノラマスキー場では、極上の緩斜面とリフトを活用するヒックスケールのスノーチュービングコースの計画も進んでいます。

### ⑪「まち・ひと・しごと」の創造

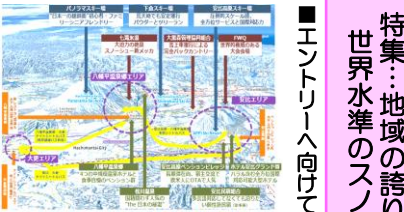
夏季のソフト構築はDCへの取組みがそのまま有効となります。一方、ハードの整備と多言語化では、50kmとレイル協議会さんと連携して優先順位を決め算定し、計画的に整備して行く方向で進めさせていただきます。

### ⑫「まち・ひと・しごと」の創造

夏季のソフト構築はDCへの取組みがそのまま有効となります。一方、ハードの整備と多言語化では、50kmとレイル協議会さんと連携して優先順位を決め算定し、計画的に整備して行く方向で進めさせていただきます。

### ⑬「まち・ひと・しごと」の創造

夏季のソフト構築はDCへの取組みがそのまま有効となります。一方、ハードの整備と多言語化では、50kmとレイル協議会さんと連携して優先順位を決め算定し、計画的に整備して行く方向で進めさせていただきます。



世界水準のスノーリゾート形成事業への申請書提出は5月末日、27日の「観光協議会」にて皆さまに確認をいただき、最終の校正を経て提出となります。

### ①意味合いの確認

この事業の目的については、2月&3月号で触れたとおりですが、平昌・北京と連続して開催される冬季五輪で拡大するスノースポーツ需要を、極上の雪質で日本へ取り込もうとする国策の一環で、日本の看板スキー場を整備するものです。

### ②意味合いの確認

八幡平市としては、フランディングの大きなチャンスです。

### ③意味合いの確認

今年、補正予算規模は全体で20億円ですが、ここで金を連ねられるかどうかは、今後のフコモーションに於いても大きな鍵となります。今後の計画を中心に、将来像を明確化しながら進めています。

※「少しおさらいすると「まちひとしごと創生総合戦略」は、人口減少と都市部集中の構造を打開する為の、地方創生の戦略で、2020年4月より第2期に入ります。

- ※八幡平市の4つの柱
- ① 八幡平市で働く  
特性を活かした、生きがいを感じる働く場
  - ② 八幡平市で育てる  
この地で縁を結び、次世代の成長と笑顔を育てる
  - ③ 八幡平市で暮らす  
地域の元気を活かした、持続可能なまちづくり
  - ④ 八幡平市に人を呼ぶ  
豊かな自然やふれあい・絆を活かし、新たな人が流入する流れを創る

① 交流人口  
一定人口に加えて、過性ながら経済波及効果をもたらすいわゆる通過型の観光客などを差します。

② 関係人口  
リビエラする外来客季節を変えて・同行者を変えて再来してくる地域への想いや関わりがより強い皆さん・滞在をする外来客・地域にルーツあり八幡平に所縁があるあるいは雪国にルーツがある外来者を差します。

③ 観光地づくりIX  
第2期まちひとしごと創生総合戦略  
「4つの柱」と・・・  
今後の観光の考え方・在り方

### 「観光地づくりIX」第2期まちひとしごと創生総合戦略「4つの柱」と・・・今後の観光の考え方・在り方

※観光的なポイントとは

- ① 交流人口II維持微増  
少子高齢化が進めば確実に通過型の観光は減少します。ここは市場を拡大しながら現状維持・微増を目標設定
- ② 関係人口II魅力特性  
現在客には必ず来訪の理由があるはず。その方々のお気に入りを経て、発信することが重要と思えます。また、耳を傾ければ環境的な課題・利便性の課題・塩加減迄話が及ぶかも知れません。

(4) 八幡平市に人を呼ぶ  
現在、コロナウイルス感染対策で始まったリモートワークが定着しだし「新しい働き方改革」が動き出したとニュースが伝えています。自宅でも十分仕事ができる職種では、より環境の良い「地方へのUターン・Iターン」を考えたり、働いての文豪の様に仕事を活かして温泉地へ出かける動きが出てくること。このような動きを受けて、アメリカで先行した「ワーケーション」が注目されており、商品化されて来ました。



※地域特性と関係人口  
交流人口が多くを占める八幡平市の観光は波動が大きく、谷の期間の方が長いのが現状。この谷の期間を我々の特性を活かしワーケーションによる関係人口を拡大する戦略は重要かつ有効と思われる。ドライな気象特性・鶯の声を目覚める朝・森林を抜ける風の鳴る満天の星と風の鳴る。我々の強みであるこの自然環境が、今こそ価値が高まっています。この環境整備には補助も動きまわりますので、MO迄お問合せ下さい。

※特別企画！早朝&夜間の Gondola 運行



※特別企画に内定！  
来夏のDOCに向けてJRさんが独自に進める特別企画として安比Gondolaの早朝II雲海運行と夜間II星空運行が決まった様です。

＊雲海Gondola  
7月になると温度の関係で雲海の出る確率が上がるこのこと。期間は、7/5(9月の週末と夏休み、特別運行がされる予定です。運行開始は朝6時、前森山から雲海・朝日に輝く岩手山など、特別な景色をお楽しみいただけます。

「夜間と早朝の商品化」へのアプローチ

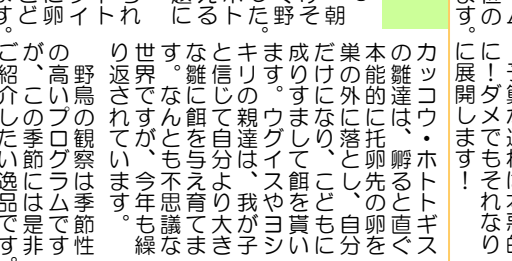
＊星空展望4つの基点  
① 焼走りの天文台  
② 温泉郷・泉民の森  
③ 安比高原・プナの駅  
④ 七時雨の広大な牧野  
それぞれ異なる環境で星空を楽しめます。焼走りの天文台では本格的な天体望遠鏡で土星の環や木星の縞模様・星雲や星団が楽しめます。



「国立公園八幡平」のリピーターの話

5月も半ばを迎え、八幡平でもカッコウ・ホトトギスの声が続かなくなりました。毎年リピーターに頂ける大事なお客様です。

＊「托卵」のお話し  
現役だったころ、朝食前の散歩に出かけるとなお客様へ、良く野鳥のお話しをしました。特にウグイスとホトトギスの声が聞こえる時期には托卵の話題になります。



※商工会よりお知らせ  
新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、本年1月より12月迄の各月の売上げ、前年同月と比べて50%以上減少した場合に、個人事業主に最大百万円、中小企業法人に最大2百万円まで補償する「持続化給付金」が5月1日から始まりました。

※市役所&観光協会よりお知らせ

※市主催行事・会議の対応方針5/19現在

- ① 特定警戒・感染拡大注意都道府県の方が参加する場合、名簿作成が困難である場合は、延期又は中止する。
- ② 参加者に県外の方を含む場合、緊急性が無いものについては延期又は中止を検討する。
- ③ ※やむを得ず実施の場合は、③同様の対策を講じる。
- ④ 市内・県内の参加者を対象とする場合は、屋内100名以下、定員の半分以下
- ⑤ 屋外200名以下、屋外100名以下、人と人の距離を1.2m確保
- ⑥ 3密を徹底的に避ける以下感染防止対策を執る

※参加者の健康状態確認2週間内、発熱&感冒受診・感染域出入無し

※会場に入る前の消毒

※会場要所の定期的消毒

※換気扇・外気交換実施

※参加削減・時間差入場

※参加者名簿の作成

※公共施設対応  
① 3密の徹底排除  
② 手指の消毒の徹底  
③ 利用者への要請  
④ 手洗いの徹底  
⑤ マスクの着用  
⑥ 定期的な換気  
⑦ 3密の排除  
⑧ 国の対処方針によるガイドラインに沿った対応  
⑨ 宿泊部門は特定警戒・感染拡大注意都道府県からの利用は制限する

5月14日、観光庁の調整で、業界5分野毎の「感染拡大予防のガイドライン」が示されました。

結構なボリュームになりますので、八幡平の状況に併せて要約版を作成してご連絡するように致します。

観光協会へご連絡いただければデータをお渡しできますのでご希望の方はお申し出ください。

※持続化給付金

申請する

※申請方法

1. 申請先

2. 申請期間

3. 申請条件

4. 申請書類

5. 申請の流れ

6. 申請の注意

7. 申請の問い合わせ先

旅行業・ホテル宿泊 鉄道・航空の5分野